

国際たくみアカデミーにて「ものづくりコンテスト・金型コンテスト」が開催され機械科生徒が参加しました。

※12月9日(土)に美濃加茂市にある国際たくみアカデミーで教育委員会主催のものづくりコンテスト、岐阜県金型組合主催の金型コンテストが開催され、ものづくりコンテストには機械研究会の代表生徒1年生2名、金型コンテストは課題研究の授業で製作した生徒3年生6名が参加し、ものづくりコンテストは課題作品の製作、金型コンテストでは製作した作品の発表を行いました。

ものづくりコンテストでは日頃の練習の成果を十分に出すことができず、10位が最高位でした。金型コンテストでは、1年間授業で取り組んできた活動の成果などを一生懸命発表をしました。



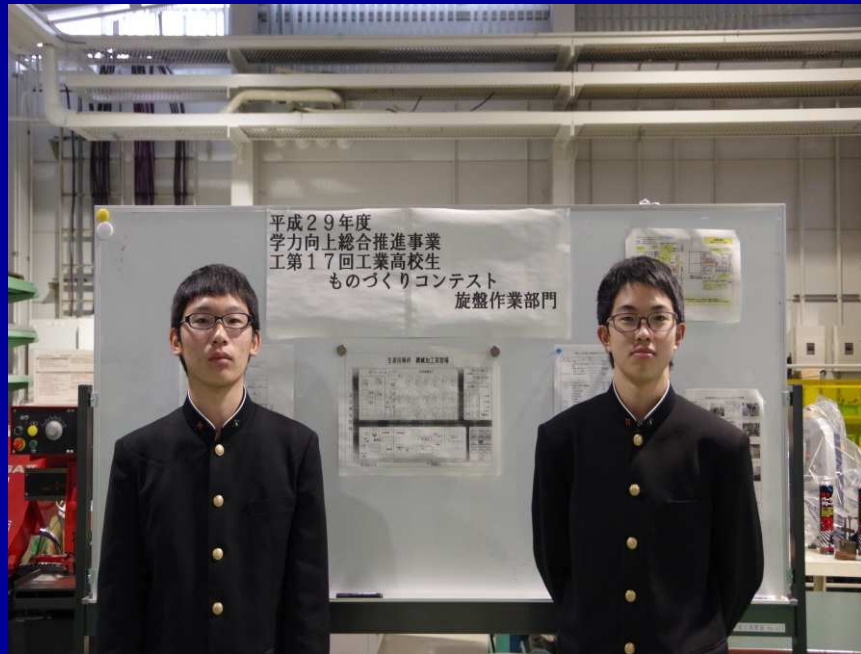
競技前の準備の様子



競技開始！！



競技課題作品製作の様子



今回大会に参加した生徒



金型コンテストにて
部品の組み付け審査の様子



製作した金型製品について審査員に発表している様子



本校の作品展示ブース

岐阜県立岐南工業高等学校 機械科

<p>作品の設計</p> <p>織田信長公が岐阜と命名してから450年ということで、織田家の「家紋」をモデルとした作品に製作することに決定しました。 無田製作所様、工場内や実物の金型などを見学させていただき、金型の各部分の名称や仕組みなどの基礎的な知識を学びました。</p> 	<p>金型の製作</p> <p>企業の方からアドバイスを受けながら、図面を参考に加工を行いました。 加工のほとんどはマシニングセンターで行い、糸が切りやリーマ加工は手作業で行いました。</p> 
<p>作品の完成!!</p> <p>製品の設計から8ヶ月、企業の方々には多くの場面で製作を支援していただきました。そして、みんなが協力し合ってついに「織田木瓜紋」が完成しました。</p> 	<p>金型の組立</p> <p>それぞれのパーツを順番に組立てて、金型を組上げました。どのパーツも重くて、精度よく作られていて、金型を傷つけないよう注意をしながら作業をしました。</p> 
	<p>射出成形</p> <p>岐阜県産業技術センターにて、射出成形を行いました。僕たちがデザインした製品が成形されてとても感動しました。</p> 

課題研究で金型作りができたのは、多くの方々の支えがあったからこそできたことだと思います。そして、今回の金型作りの経験を活かして今後の進路先に役立てていきたいです。

展示パネルの原稿

金型製品の課題内容

テーマ: ※地域らしさを表したキーホルダーの製作

今年度は、岐阜市が織田信長が来城して450年という記念の年でもあり、信長公の家紋をモチーフにして作品を製作しました。